

## 解説

# 楽しい5Sが成果を生み出す

えちぜん改善実践舎 越前行夫\*

## なぜ5Sは続かないのか

今や5Sを実施していない企業はないほど5Sは普及している。企業ばかりか、自治体や学校、商店などでも5Sを取り入れているところは多い。しかしせっかく5Sを導入したのに、定着せずにいつしか消えていくことも多い。何度も5Sにチャレンジした企業もある。なぜ5Sは定着しないのだろうか。5Sが続かない理由はいくつもあるが、次の3つのどれかにあてはまるケースが多い。

- ① 5Sを正しく理解していない
- ② 5Sの正しい進め方がわからない
- ③ 5Sを楽しんでいない

5Sを正しく理解していないと、5Sをすること自体が目的になり、成果が出ないとすぐにストップしてしまう。特にトップの理解がないと、5Sが長く続くことはない。また5Sの正しい進め方がわからなければ、いくら時間や費用をかけてもレベルが上がらず、やる気を失い、やがて消滅してしまう。では、正しく理解し、正しい進め方を導入すれば、5Sは続くのだろうか。答えは「ノー」である。5Sを楽しむこと……これこそ、5Sを継続し、進化させていく条件なのである。

論語の中に「これを知る者は、これを好む者に如かずこれを好む者は、これを楽しむ者に如かず」

ということばがある。これを5Sにあてはめてみると、「いくら5Sの知識があっても、5Sを好きな人にはかなわない。またいくら5Sが好きでも、5Sを楽しんでいる人にはかなわない」ということになる。5Sは楽しむことが重要なのだ。楽しめば、自然に継続し、知識や腕もそれにともなっ

てどんどんついてくるのだ。しかし残念ながら「5Sが好きだ、5Sは楽しい」と胸を張って言える人は少ない。逆に「5Sは嫌いだ、5Sはおもしろくない」と考えている人は大勢いる。なぜなのだろうか？

5S嫌いにするのは簡単だ。「資期採現」の法則を取り入れればいいのだ。

資：資料をどんどん作らせる（5Sを導入してどのような変化、効果があったかなど）

期：期限を決めて、指摘事項を確実に実施させ報告させる（指示命令とレビューの強化）

採：チェックリストを用いて各職場を採点する（もちろん減点法である）

現：現場に主体性を持たせない（あくまでもトップあるいは専門スタッフ主導）

資期採現の全てが揃っていれば完璧だが、一でも実施すれば、みんな5Sが嫌いになることだろう。

## 5Sは誰でも好きになれるのか？

それでは、資期採現を排除すれば、誰でも5Sを楽しむことができるのだろうか？基本的には「イエス」である。もともと5Sは誰でも好きに

\*えちぜん ゆきお：代表、きむら5S実践舎コンサルタント  
〒241-0011 横浜市旭区川島町 3016-57  
TEL: 045-383-6388